

# 川端康成のディスカバージャパン

大阪府 茨木市 2016.07

川端康成が幼少期を過ごした茨木市では、この文豪に因んだ様々な企画を催しています。その一つとして、7月6日男女共生センターローズ WAM で、映画「古都」の上映と小林芙蓉の揮毫のイベントを開催していただきました。会場では茨木市長の挨拶がありました。また、親交のある駐日シリア大使がご来場くださいました。揮毫の字は「山の音」で川端康成の小説の題名からとったものです。川端康成がこの作品を執筆したのは、京都嵐山にあった旅館で、この隣に松籟庵がありご縁を感じます。この書の山は、嵐山を指しています。会場には8月に中国北京で開催される「和して同ぜず」に出品する、新作5点を含めて多数展示して、来場者の皆様に鑑賞していただきました。なお、茨木市立川端康成文学館では企画展「川端康成のディスカバージャパン」で6月1日から7月6日まで、小林芙蓉のコーナーを設けていただき、作品を多数展示していただきました。



川端康成文学館



川端康成文学館企画展「川端康成のディスカバージャパン」に展示されました

